

## 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	生産流通課
職	課長
氏名	江藤 秀明

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
消費者ニーズに沿った安全で良質な農畜産物の生産体制とブランド化の推進による販売力の強化	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
① 特色ある県産農林水産物のブランド化を進め、販売の拡大を図る。 ② うまい・きれい石川米づくり運動を進め、県産米の品質向上を図る。 ③ 地域の条件に適した地域特産物づくりを推進するとともに、水田での転作作物の拡大を図る。 ④ 食品産業と連携した新商品開発等の6次産業化を推進する。 ⑤ 地産地消の推進 ⑥ 能登牛の生産拡大と品質向上により、他産地に負けない特色ある肉牛生産を推進する。	

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
① ブランド品目数の販売額	20.9 億円	H30 年度	30 億円	R4 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
② 1等米比率	88 %	H30 年度	90 %	R7 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
③ 園芸品目の共販金額	72 億円	H30 年度	87 億円	R7 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
④ 総合化事業計画の認定者数	3 件(累計)	H30 年度	16 件(累計)	R7 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
⑤ 奥能登食材直行便による販売額	47,267 千円	H30 年度	50,000 千円	R7 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
⑥ 能登牛の認定頭数	1,010 頭	H30 年度	1,500 頭	R4 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016



令和元年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 県産農林水産物のブランド化、販路拡大	ブランド食材プロデューサーの設置や県産食材求評懇談会等の開催を通して、県産食材の新たな販路開拓・拡大を図る。
② 良品質で売れる米づくりの推進	地域の品質向上の課題を明確にし、実情に応じた品質向上対策を徹底することにより1等米比率の向上を図る。
③ 特色ある園芸産地の育成	消費者・実需者ニーズに基づいて、出荷形態や栽培方法の改善に主体的に取り組む産地の育成を図る。
④ 6次産業化の推進	農林漁業者等による新商品開発や販路開拓、総合化事業計画の策定支援や情報提供等を行い、6次産業化の推進を図る。
⑤ 地産地消の推進	県内の商工業者と連携した地産地消の推進、地域農業の理解と地元食材の利用促進を図る。
⑥ 能登牛の生産基盤を整備	能登牛の生産基盤を拡充するために、肥育農家の規模拡大及び酪農家における乳肉複合経営の推進を図る。